

11. 学校関係者評価

学校関係者評価報告書

実施日：令和8年3月10日

学校名：専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

評価結果

1. <教育理念・目標>			評価
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	4
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4

コメント

教育理念・目標の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目4の評価となった。昨年から継続しているオンデマンドでの保護者説明会も評価でき、新ツールの導入により保護者へ直接配信ができるようになった点は大きな進歩である。

2. <学校運営>			評価
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

コメント

2-6の「情報公開」に関しては、現状、評価3とされているが、コマシラバスが完成・情報公開の環境が整備されれば評価をあげることが妥当である。

3. <教育活動>			評価
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	4
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4

3	10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	4
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	3
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	3
3	13	講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
3	14	実習に関し、機構推奨コアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	3
3	16	動物を使用する実習、実験等に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	3
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	4

コメント

教育活動の各項目については、明確なエビデンスがあり、全項目3以上の評価となった。実践教育の更なる充実には業界団体との連携が欠かせない。カリキュラムやインターンシップなど積極的連携が取れており、良い関係性を築き上げていると判断でき、その成果が授業にも生かされている。

4. <学修成果>			評価
4	1	就職率の向上が図られているか	3
4	2	資格取得率の向上が図られているか	3
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	3
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	3
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3
4	6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3
4	7	総合臨床実習(インターンシップ)について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか	3

コメント

全項目3の評価であった。その他項目と比較すると少し低い評価に見えるが、伸びしろを鑑みた評価であると判断している。インターンシップや外部イベントなど学びを着実に社会実装しており、そのクオリティも非常に高く評価されている。

5. <学生支援>			評価
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	3
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	3
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	3
5	7	保護者との連携は適切か	3
5	8	卒業生への支援体制はあるか	3
5	9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2

5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
---	----	---	---

コメント

5-8卒業生への支援体制は、例年評価を上げることが難しい項目であったが、コース別同窓会が実施されたことは大きな進歩といえる。将来的にはちば愛犬全体での同窓会を期待するが、まず最初はその他コースへ拡張していくことを期待する。

6. <教育環境>			評価
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
6	2	防災に対する体制は整備されているか	4
6	3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	4
6	4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が使用できるか	4
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	3
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	3
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	2

コメント

6-8について、世界情勢・円安など海外へ目を向けることが難しい状況もあると理解している。研修＝自ら足を運ぶことだけでなく、オンラインを最大限活用するなど交流・相互教育の方法を模索していきたい。

7. <学生の受入れ募集>			評価
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
7	2	学納金は妥当か	3
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	3

コメント

学納金変更とあったが、物価高騰の影響、更なる教育の質担保を考えれば妥当と考える。

8. <財務>			評価
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	3

コメント

特になし

9. <教育の内部質保証システム(法令等の遵守)>			評価
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
9	4	自己評価結果を公開しているか	4
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	4
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	3
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか	3

コメント

特になし

10. <社会貢献・地域貢献>			評価
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

コメント

「社会実装」を進めるべく、地域と学校の紐づけは非常に有効かつ重要な手段である。現状でも様々な試みが行われているが、今後も委員会関係者からも情報提供を行っていくので、引き続き注力していただきたい。

11. <国際交流(必要に応じて)>			評価
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行い、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
11	2	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

コメント

多くの海外団体や大学とつながりを持っており、「ちば愛犬」との協力体制を望まれることも多いと聞いた。引き続き、この関連性を強固にしながら、進めていっていただきたい。

総評

ちば愛犬の大きな特徴は充実した施設・設備であるが、中長期計画を立案し、学生・パートナーアニマルを第一に考えた施設計画を立て新規工事・改修計画を立てている。また、各コース授業の指針となる「コマシラバス」や「カリキュラムツリー」の早期整備を目指して、準備を開始するなど、目標達成に向けた学校全体での取り組みが行われている。募集活動も安定しており、エビデンスや学校側の説明を参考に学校評価を行った。今回に関しては学校の自己点検・評価表との相違はなく、同じ評価とした。